

特集 | TOPICS

ワーク・ライフ・バランスについて改めて考える

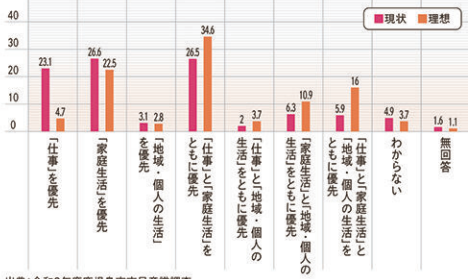
ワーク・ライフ・バランスとは？

右図のように、働く人の「仕事」・「家庭」・「趣味」・「ボランティア」など「仕事以外の生活」との調和がとれ、その両方が充実している状態のことです。仕事と生活の望ましいバランスは人によって異なり、同じ人でも子育て・介護に関わる時期など、人生のステージによって変わってきます。「これがベスト」という画一的な答えはありませんが、それぞれの状況に応じて多様な生き方・働き方を柔軟に選択できるようになることが重要です。



ワーク・ライフ・バランスの現状

■「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度



「理想」と「現状」を比べると「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先]では、現状が理想より10.1ポイント低く、「仕事」を優先]では18.4ポイント高くなっている。理想と現状には大きな隔たりがあるんだね。

出典：令和2年度鹿児島市市民意識調査

ワーク・ライフ・バランスに先駆的な取り組み **鹿児島製茶株式会社**



お茶の製造・小売りを行う鹿児島製茶（森 裕之代表取締役）は2016年、鹿児島市で最初に「プラチナくるみん」※企業に認定されました。同社ではフレッシュ体験（連続最大5日間）とシーズン休暇（同4日間）の取得を全従業員に奨励し、年次有給休暇5日以上取得率100%を達成しています。

「女性社員が多く、結婚出産に伴う離職の解決に向けて「女性社員が安心して長く働ける職場づくり」に取り組み、育児休業や時短勤務などの制度整備を積極的に進めてきました」と総務部の米山信史課長代理。17年には森社長自ら「イクボス宣言」をして育児休業を取得し、職場の意識喚起に一役買いました。

勤務時間が最大2時間短縮される「短時間正社員制度」を利用している小濱愛里さんは、錦江流通センターの総務で1時間の短縮勤務を選択。半日はテレワーク勤務の「ハイブリッドワーク」という働き方をしています。「小学生の子供が帰宅した時に、家で迎えてあげられるのがうれしい。子供たちは喜んでくれるし、学校行事などにも参加しやすくてありがたい制度です」と小濱さんは語ります。

同社では今後も社員の希望を募りながら、ワーク・ライフ・バランスのこれら職場環境づくりに努めていくそうです。 ※「プラチナくるみん」については裏表紙を参照

米山信史課長代理(左)と小濱さん

ワーク・ライフ・バランスはなぜ必要？



やりがいや充実感を感じながら働き、育児・介護の時間や家庭、地域活動、自己啓発など自分の時間を持つ生活を実現するためには、社会全体でワーク・ライフ・バランスの取り組みを進めていくことが大切！

ワーク・ライフ・バランスが実現すると

企業
Enterprise

個人
Individual



- ・仕事に対する意欲・業務効率、生産性の向上
- ・優秀な人材の確保・定着率の向上
- ・労働時間短縮に伴う各種コストの削減
- ・企業イメージ・評価の向上 など

- ・家族との時間が増える
- ・育児・介護に積極的に関わる
- ・スキルアップのための勉強時間の確保
- ・家庭生活、心身の充実 など

仕事

生活



「ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー」を利用しませんか？

～あなたの事業所の働きやすい職場環境づくりを応援します！～

従業員の仕事と育児・介護の両立支援や長時間労働の削減をはじめ、働きやすい職場づくりについてのアドバイスなどを行うワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー（社会保険労務士など）を無料で派遣します。

派遣無料

回数 1事業所当たり3回まで

具体的な相談例：

- ①「ふるほしや/くるみん」の認定を受けるにはどうすればいいの？
- ②就業規則の見直しや社内研修など、できることから取り組んでみたい。
- ③働き方改革に対応するために使える助成金について知りたい。

お問い合わせ・申込先 **鹿児島市雇用推進課 電話099-216-1325**

